



写真/文 青沼 豊晶

ALPS PRESS

長野県塩尻市塩尻町260番地 TEL.0263-52-1150

2012年 5月 28日

37号



太田圃場のぶどうは3年生。只今「芽かき作業」の真最中。生育の早さに合わせて、品種ごと順番に作業を進めます。

一年のサイクルのなかで、「芽かき」はぶどうの収穫量を制限するための作業の一つです。余分な枝を取り除き、その年に芽を出させる枝を決定する冬季剪定が第一段とすれば、「芽かき」は、その第二段というべきものでしょう。必要以上に芽を残してしまうと、果実の糖度が上がらないばかりでなく、新梢が密集するため風通しが悪くなり、病気にかかりやすくなります。不要な新梢をかきとることで日当たりも良くなり、ぶどうの生長を助けます。



太田圃場にバラの苗を植えました。ぶどうより病気に弱く敏感なバラが「うどんこ病」の気配を教えてください。弱いものが、弱さゆえに、身を呈して他を守ってくれるのです。

5/25、6:00~7:00、恒例のJR塩尻駅のホームにある、ぶどう棚の管理作業がありました。今回は誘引、芽かき作業を行いました。

昨年、12月に塩尻駅1Fにリニューアルオープンした弊社直営の「野田屋」好評営業中。TEL&FAX 0263-53-8204 宅配も承ります。

